



遊び その2 「くすぐり遊び」

子どもが喜ぶ「くすぐり遊び」。大好きな人が笑顔で遊んでくれるからうれしいのです。ことばを獲得中の乳児にとって、身体接触は養育者との大切なコミュニケーションのひとつ。笑顔がはじける心地良い遊び体験は豊かな心身を育みます。たくさんしてあげるといいですね。

「くすぐり遊び」は人によって多少の「不快」要素もあります。子どもは誕生直後でも満足(快)や苦痛(不快)の感情を持っています。笑顔がない、楽しんでいない、嫌がっている、いやと言っている。その時にはやめましょう。幼少時から「いや」を聞き入れてくれること、不快を不快と分かってもらえることはとても大事です。

親でも誰であっても“子どもの嫌がることはしないこと”“嫌がればやめること”。そして“いやな時は「いや」って言えること”“相手の「いや」を聞くことができること”。このような関係性はとても大事です。性犯罪の被害者にも加害者にもならないように子どもたちを守っていかねばなりません。思春期以降の性的同意にもつながっていきます。

絵本「こちょこちょ ももんちゃん」。ももんちゃんが笑顔でやさしくお友達にこちょこちょ。お友達も大好きなももんちゃんからのこちょこ

ちょに笑顔いっぱい。くすぐりごっこって、お互いの笑顔で楽しくなる遊びなのです。

「さわらせて」。「いぬさん ちょっと さわらせて」「いいよ せなか さわっていいよ」「ねこさんちょっと さわらせて」「くびなら いいわ」—。子どもたちが絵本の中の動物たちにもそっと触ってくれるように、色合いや触感を考えて作られた絵本です。触る前に「さわっていいですか」「いいよ」、幼少時からこのやり取りが自然にできるようなコミュニケーションの取り方を子どもたちに伝えていきたいものです。

小学生でも「くすぐり遊び」が好きな子は大勢います。お互いの笑顔でくすぐりごっこを楽しみましょう。

今回ご紹介する絵本



こちょこちょ ももんちゃん
作・絵とよた かずひこ
童心社



さわらせて
作 みやまつ ともみ
アリス館

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター。Think the Earth SDGs for School 認定エドゥケーター

